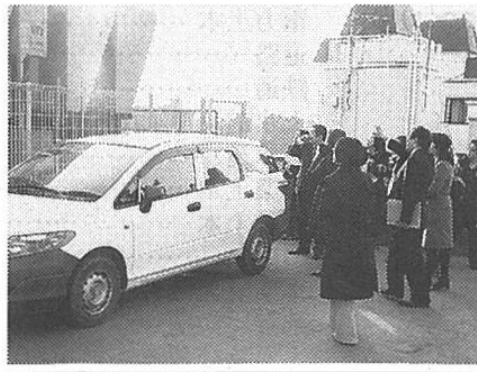


設備女子会が初の最新技術見学会

建築設備技術者協会の設備女子会（徳弘洋子会長）は26日、東京・四ツ谷にある新菱冷熱工業本社ビルの見学会を開いた。同会初の見学会で23人が参加した。

新菱冷熱工業では2011年から15年まで、築後40年の自社ビルを省エネルギービルに改修するプロジェクト「新菱冷熱自社ビル省エネルギーProject」を展開中。



最終年度のエネルギー削減目標を、改修前と比較して熱源で40%、空調・換気で50%、建物全体で40%、CO₂排出量を37%削減を目指し、継続的な実証データの収集・評価を実施している。CASBE E改修のSランク認証も取得している。

見学会では、削減数値達成に向けて導入された、最新の設備を見て回った。見学会に続いて導入された、最新の設備を見て回った。見学会に続いて導入された、最新の設備を見て回った。見学会に続いて導入された、最新の設備を見て回った。

参加した女子の所属企業は次のとおり。
竹中工務店、朝日工業社、オーム社、きんでん、久慈設計、ダイキンエアテック、徳弘建築設計事務所、フリーランス、高砂熱学工業、佐藤工業、三機工業、新菱冷熱工業、東亜建設工業、東芝キャリア、特許機器、HALTON、日比谷総合設備、裕幸計装。

建築設備技術者協会（JABME）の「設備女子会」（設女会、徳弘洋子会長）は2月26日、東京都新宿区の新菱冷熱工業本社ビルで第1回見学会を開いた。設計事務所やゼネコ、設備工事会社などさまざまな職場で活躍する女性約20人が参加。11年から省エネルギーが進められているビルを見学した。

20人参加、初の見学会開く

「新菱冷熱自社ビル省エネルギーProject」を実施中。改修工事は11年9月に終わり、現在はエネルギー削減に関する運用実績を集計している。見学会に徳弘会長は「他の業種や企業の人と交流する機会はないかな。見学会でたくさんの人と交流し、仕事などに役立ててほしい」と期待を込めた。



新菱冷熱工業の担当者から説明を受ける見学者たち。設女会は13年11月18日の「建築設備士の日」に発足した。女性技術者が情報交換・発信を行い、活躍の場を広げることで社会に貢献していくことが目的。同社は、11年から15年までの計画で築40年の自社ビルを省エネルギービルに改修する「新菱冷熱自社ビル省エネルギーProject」を展開中。

空調システムなど見学

新菱冷熱工業本社で

建築設備技術者協会（JABME、川瀬貴晴会長）が立ち上げた設備女子会（徳弘洋子会長の第1回となる見学会が、東京・新宿区の新菱冷熱工業で行われた。見学会には23人が参加し、改修によりCASBE EのSランクを取得した同社の本社ビルを見学した。



設備女子会は、12年11月に発足。女性技術者による情報交換・情報発信の場として、これまで東京・大阪で4回の交流会を行ってきたが、見学会としては初の試み。

見学会では、説明を受けた後、同ビルが導入している高効率空冷ターボヒートポンプチャージャーや床吸込と床吹出を組み分けた空調システムなどの様子を見学。その後、改修の費用対効果など、多くの質問が出され、盛り上がりを見せた。